

命をいただく大切さ

西尾小学校 高橋 凛

私は小さいころ、なぜご飯を食べる前に、「いただきます。」というのだろうかと思っていました。

保育園の先生から、「いただきます。」の意味は、牛や魚や野菜などの命をいただくからだだと教わりました。だから私は、その事に対して感謝をしなければいけないという事が、分かりました。

給食には作ってくれる方々、食材を育ててくださる方々、などたくさんの人達もいるのでその人達にも「感謝」の気持ちをこめていかなければいけないと思いました。

給食を作ってくくださる方々は、私たちのことを考えて体によい給食を作ってくれていることを知ったときは感謝しかなかったのです。なるべくきれいな食べ物を残さずに食べたいです。

私は学校で食べる給食が大好きで、給食を食べる事を楽しみにしています。何より同級生と一緒に食べる給食はとても幸せな気持ちになり、みんなで食べる事の喜びを知る機会になると思います。

思い出のエピソードは、お母さんが給食のこん立を作ってくれた事です。給食で出たひじきご飯がとてもおいしかったので、お母さんに作ってもらえたときうれしかったです。お母さんが作ってくれたひじきご飯は、給食のときの味とそっくりでとてもおいしかったです。なので次は、お母さんと一緒にひじきご飯の他にも作ったりして、家族みんなで食べたいです。

給食には、さまざまな思いや感謝、幸せなど色々な思いが詰まっているという事を知りました。

これからも、給食を作ってくださいる方々、牛や魚などに対して「感謝」の気持ちを忘れずに、給食を食べていきたいです。